



学校だより

浮舟

u k i f u n e

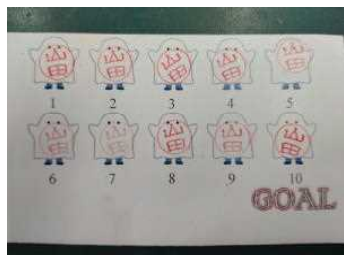
令和6年1月25日(木)
第38号

〒979-2157
南相馬市小高区吉名字中坪1

TEL 0244-44-2023

『校長先生からの挑戦状』スタンプ10個達成！

2学期後半から2学年の生徒たちに『校長先生からの挑戦状』として、さまざまな分野の問題にチャレンジしてもらっています。問題の配付や回答の提出はタブレット型PCでやり取りし、正解の「はな丸」をもらった生徒には専用のスタンプカードにスタンプを溜める方法で、学習の成果が見られるようにしていました。



そしてこの度、スタンプ10個を溜めることができた第1号の生徒が現れました。宝槻さんです。おめでとうございます。すぐに第2号、第3号の生徒が続くことが予想されています。忙しい中ですが、学校での勉強の応用と考え、どんどんチャレンジしてほしいと思いますので、ご家庭からお声かけください。

最近出題した問題とその解答例を紹介します。「日本人の生真面目さ」を取りあげたジョーク問題です。生徒たちのユーモアセンスに何か光るものを感じることができました。

アメリカの自動車会社が、とある国と日本の部品工場に以下のような条件を付けてメールで仕事を発注しました。

とある国&日本の部品会社 御中

【厳守事項】「不良品は、部品1,000個につき1個とすること。」

アメリカの自動車会社より

数日後、アメリカの自動車会社にとある国の工場からメールが届きました。

アメリカの自動車会社 御中

「不良品を1,000個に1個というのは、大変困難な条件です。納期の延長をお願いします。」

とある国の部品工場より

さらに数日後、アメリカの自動車会社に日本からもメールが届きました。

アメリカの自動車会社 御中

「納期に向けて作業は順調です。ただ（ _____ ）。」

日本の部品会社より

【問題】日本の部品会社はアメリカの自動車会社に何と伝えたでしょうか。

【生徒Kさんの考えた答え】

ただ、部品を作っている作業者がとても優秀なため、不良品を全力で作るそうですので、不良品のデキもぜひご覧ください。

模範解答として、このジョークの落ちを紹介します。Kさんの答えの方がデキが良いように思えます。このようなジョークは他にもたくさんありますので、探してみてください。

(ジョークの落ち) 「ただ、不良品の設計図も送っていただけますでしょうか。」